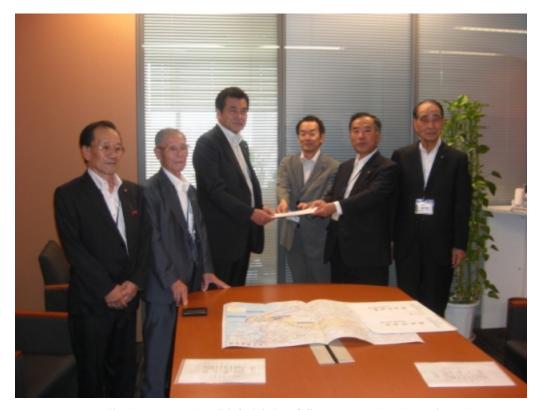
川崎縦貫道路等の早期整備について



(左より)工藤副会長・和田副会長・城島衆議院議員・齋藤副市長・山田会頭(会長)・寺尾副会長

平成23年7月25日

国土交通大臣 大畠 章宏 殿

川崎商工会議所 会頭 山田 長満 川崎市の幹線道路の整備を促進する会 会長 山田 長満 川崎市長 阿部 孝夫

川崎縦貫道路等の早期整備について(要望)

川崎市は首都圏の中央に位置し、幹線道路ネットワークのクロスポイントを形成するとともに、羽田国際空港に隣接する優れた立地性を持つ拠点都市として首都圏機能の強化、連携を図る上で枢要な役割を担っております。

ことに、川崎臨海部は東京湾アクアライン、東京湾岸道路、川崎縦貫道路の結節点として、都市間競争力・国際間競争力時代にあって首都圏に波及する大きなポテンシャルを有している地域です。また、基幹的防災拠点として重要な役割も担っているエリアでもあることから、災害時における交通機能の確保という観点からもミッシングリンクの早期解消は不可欠です。

しかしながら、臨海部産業構造の変化に起因した東京湾岸道路、川崎縦貫道路などの幹線道路の整備は進展せず、東京湾アクアラインとともに形成する首都圏交通機能を十分に発揮できる状況に無いことから、羽田国際空港ハブ化及び京浜3港連携プロジェクトの経済的効果実現を阻害しており、臨海部を始めとした基幹企業、中小企業、団体から不満の声と施策の遅れを厳しく指摘する声が多く聞かれます。

つきましては、一刻も早くミッシングリンクを解消し、国際物流拠点強化、災害時緊急輸送及び迂回機能の強化、環境改善、新産業誘発など多様な効果を生む次の3点の幹線道路整備事業にご高配賜りたくお願い申し上げます。

- 1. 川崎縦貫道路II 期計画について、東京外かく環状道路東名以南との一本化を含め幅広く検討を進め、早期に計画の具体化を図ること。
- 2. 川崎縦貫道路 I 期事業の街路計画を基本に、国道409号の一般部の先行整備や川崎駅周辺の交通円滑化のための国道15号〜国道1号間のバイパス化などの整備に必要な予算を確保し、早期実施を図ること。
- 3. 羽田連絡道路の整備について、早期にルート・構造の検討を進め、国主体による事業として着手するとともに、一般国道357号について、早期に効果が発揮される整備手法等を検討し、早急な対策を講じること。